



当社の社名「Delta-Fly」は  
「Dragonfly（とんぼ）」に由来しています。

第三者割当による行使価額修正条項付第11回新株予約権の発行に関する説明資料

2026年1月16日

**Delta-Fly Pharma株式会社**  
(東証グロース:4598)

今回の調達資金は研究開発、治験の進展のために充当

目的

機動性の高い有利子負債調達余力を残しながら、研究開発を推進

資金使途

①DFP-10917+VEN併用の臨床第 1 / 2 相試験の研究開発費及び第 3 相試験の研究開発費	349 百万円
②DFP-10917の臨床第 3 相試験の研究開発関連費用	120 百万円
③DFP-14927の臨床第 1 相拡大試験の研究開発費	150 百万円
④開発体制・管理体制の強化（報酬・人件費等）及び特許関連費用等（関連経費）	100 百万円

(※)各資金使途の総額は、本新株予約権の発行価額の総額に、本新株予約権が全て当初行使価額で行使された場合における金額を合算した金額から、発行諸費用20百万円を差し引いた手取概算額を記載しております

# 第11回新株予約権による資金調達を実施

資金調達総額（※1）		約7.19億円(当初行使価額ベース)
潜在株式数		3,000,000株
潜在希薄化率（※2）		24.67%
償還期限/権利行使可能期間		2年間(割当日の翌取引日から2028年2月2日まで)
行使価額	当初	246円(発行決議前日の終値の92%)
	上限	なし
	下限	134円(発行決議前日の終値の50%)
	行使価額の修正	各行使請求日の前取引日の終値の92%に相当する額に修正 (ただし、下限行使価額は下回らない)
償還/取得条項		当社取締役会の決議に基づき、本新株予約権の払込期日の翌日以降いつでも、15取引日前までに本新株予約権者への通知により、残存する本新株予約権の全部又は一部を本新株予約権の発行価額相当額で取得可能
割当先		マッコーリー・バンク・リミテッド

(※1)資金調達総額は、本新株予約権の発行価額の総額に、本新株予約権が全て当初行使価額で行使された場合における金額を合算した金額から、発行諸費用20百万円を差し引いた手取概算額を記載しております

(※2)2025年12月31日現在の当社発行済普通株式総数 12,159,900株に対する割合です

本ファイナンスに関する詳細は、本日公表のプレスリリース「第三者割当による行使価額修正条項付第11回新株予約権の発行に関するお知らせ」をご参照ください

## 1. 本ファイナンスに関する背景と目的

- 本ファイナンスに際し、過去の実績を考慮した結果、マッコーリーキャピタル証券会社及びマッコーリー・バンク・リミテッドから資金調達のストラクチャー・基本条件の提案、設計されたスキームが、当社の資金調達ニーズを満たすものであると判断。また、これまでのグローバルな活動実績や保有方針等を総合的に勘案し、本新株予約権の第三者割当の割当予定先としても適切と判断

## 2. 行使価額修正型新株予約権の発行

- 行使価額修正型の本新株予約権の発行により、足元の資金需要充足を企図
- 株価が下限行使価額を上回って推移している限りにおいて、行使期間中の株価動向に応じた行使が期待でき、資金調達の蓋然性を高めることが期待できる
- 株価が上昇した場合においても、その上昇メリットを当社が享受可能

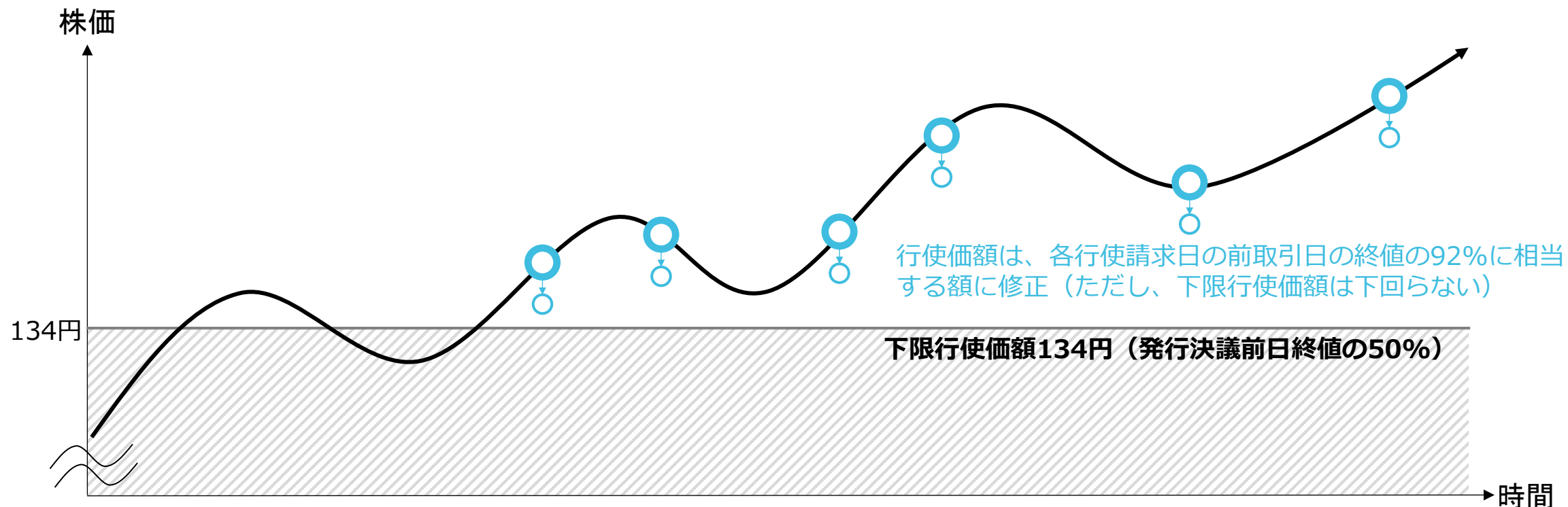
## 3. 希薄化に対する合理的判断

- 希薄化の発生が新株発行対比で段階的
- 将来的に当社の資金ニーズが後退した場合や資本政策方針が変更になった場合等、本新株予約権を取得することにより、希薄化を防止できるほか、資本政策の柔軟性も確保可能

## 第11回新株予約権

- 当初より行使価額修正条項が適用
- 株価が下限行使価額を上回って推移している限りにおいて、行使期間中の株価動向に応じた行使が期待でき、資金調達の蓋然性を高めることが期待できる
- 株価が上昇した場合においても、その上昇メリットを当社が享受可能

「新株予約権行使のイメージ図」



今後のスケジュール

開発品	開発地域	開発段階	上市後の最大年間製品販売予測（億円）	公表時点	2024年3月期	2025年3月期		2026年3月期		2027年3月期		2028年3月期		2029年3月期		2030年3月期以降
					下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
DFP-10917		自社 P-3	Global 1200	今期計画	P-3 試験中 <フォローアップ・解析>											
				前期公表分	P-3 試験中 <フォローアップ・解析> 申請準備予定			上市見込み								
		自社 VEN併用 P1/2		今期計画	P-1／2 試験中											
				前期公表分	P-1／2 試験中											
		他社 P-1	国内 100	今期計画	P-1 試験中											
				前期公表分	P-1 試験中											
DFP-14323		自社 P-3	国内 100	今期計画	P-3 試験準備	P-3 試験中 <フォローアップ・解析> 申請準備予定						上市見込み				
				前期公表分	P-3 試験準備	P-3 試験中 <フォローアップ・解析> 申請準備予定				上市見込み						
DFP-17729		自社 P-2／3	国内 50 × n	今期計画	P-2／3 試験中 <フォローアップ・解析> 申請準備予定						上市見込み					
				前期公表分	P-2／3 試験開始 申請準備予定				上市見込み							
DFP-11207		自社 P-2 準備	Global 1000	今期計画	P-2 準備						P-2 試験予定					
	前期公表分			P-2 準備				P-2 試験予定								
		医師主導 P1/2	NA	新設		P-1／2 試験中										
DFP-14927		自社 P-1拡大	Global 300	今期計画	P-1 試験完了 P-1 拡大試験中											
				前期公表分	P-1 試験完了 P-1 拡大試験中											
DFP-10825		自社 P-1 準備	NA	今期計画	P-1 準備											
	前期公表分			P-1 準備												

注1 「上市後の最大売上高予測」は、「薬事ハンドブック2025(じほう)」より、当社における1年間での最大製品販売額(死亡者数×類似疾患医薬品薬価×独自係数)にて算出しました。また、当該製品販売額は各パイプラインのライセンスアウト後におけるロイヤリティ収入等を予測したものであり、将来的には変動することがあります。

注2 開発品の製造・販売承認については、開発地域の規制当局からの承認が認められた場合、順次その他の地域(例えば:米国、欧州、アジアなど)の拡大を見込んでおりますが、その他の地域の規制当局による承認が必要となります。

注3 上記、開発段階及びスケジュールは、今後、変更される可能性があります。

現時点における調達資金の修正後の充当状況

(単位:百万円)

資金調達	調達額 (実績・予定)	資金使途	充当額	使用期間
第5回、第6回新株予約権（全て行使済み）	1,310	DFP-10917の臨床第3相試験の研究開発費 DFP-14323の臨床第3相試験の研究開発費 開発体制・管理体制の強化(人件費)及び特許関連費用等(経費)	1,310	2022年12月～2024年3月 2023年4月～2025年9月 2022年12月～2024年3月
新株式（払込済み） 第7回新株予約権（全て行使済み）	1,443	DFP-17729の臨床第1相/第2相試験及び臨床第2相/第3相試験の研究開発費 DFP-11207の胆道がんに対する医師主導治験の研究開発費 DFP-14927の臨床第1相試験及び次臨床試験の研究開発費 DFP-10917の臨床第3相試験の研究開発費及び承認申請関連費用 開発体制・管理体制の強化(報酬・人件費)及び特許関連費用等(経費)	811	2023年11月～2026年11月 2024年4月～2028年3月期 2023年11月～2025年3月期 2023年11月～2025年4月 2023年11月～2025年3月期
第8回新株予約権(全て行使済み) 第9回新株予約権(未行使)	1,114	DFP-10917+VEN 併用の臨床第1/2相試験の研究開発費 DFP-10917の臨床第3相試験の研究開発関連費用 DFP-14927の臨床第1相拡大試験の研究開発費 開発体制・管理体制の強化(報酬・人件費等)及び特許関連費用等(関連経費)	933	2024年10月～2026年3月期 2024年10月～2026年3月期 2024年10月～2025年12月 2024年11月～2025年12月
第10回新株予約権(全て行使済み)	1,157	DFP-14323の臨床第3相試験の研究開発費 DFP-17729の臨床第2/3相試験の研究開発費 DFP-10917の臨床第3相試験の研究開発関連費用 開発体制・管理体制の強化(報酬・人件費等)及び特許関連費用等(関連経費)	184	2025年6月～2027年6月 2026年12月～2029年12月 2025年4月～2025年12月 2026年1月～2026年9月
合計	5,024		3,238	

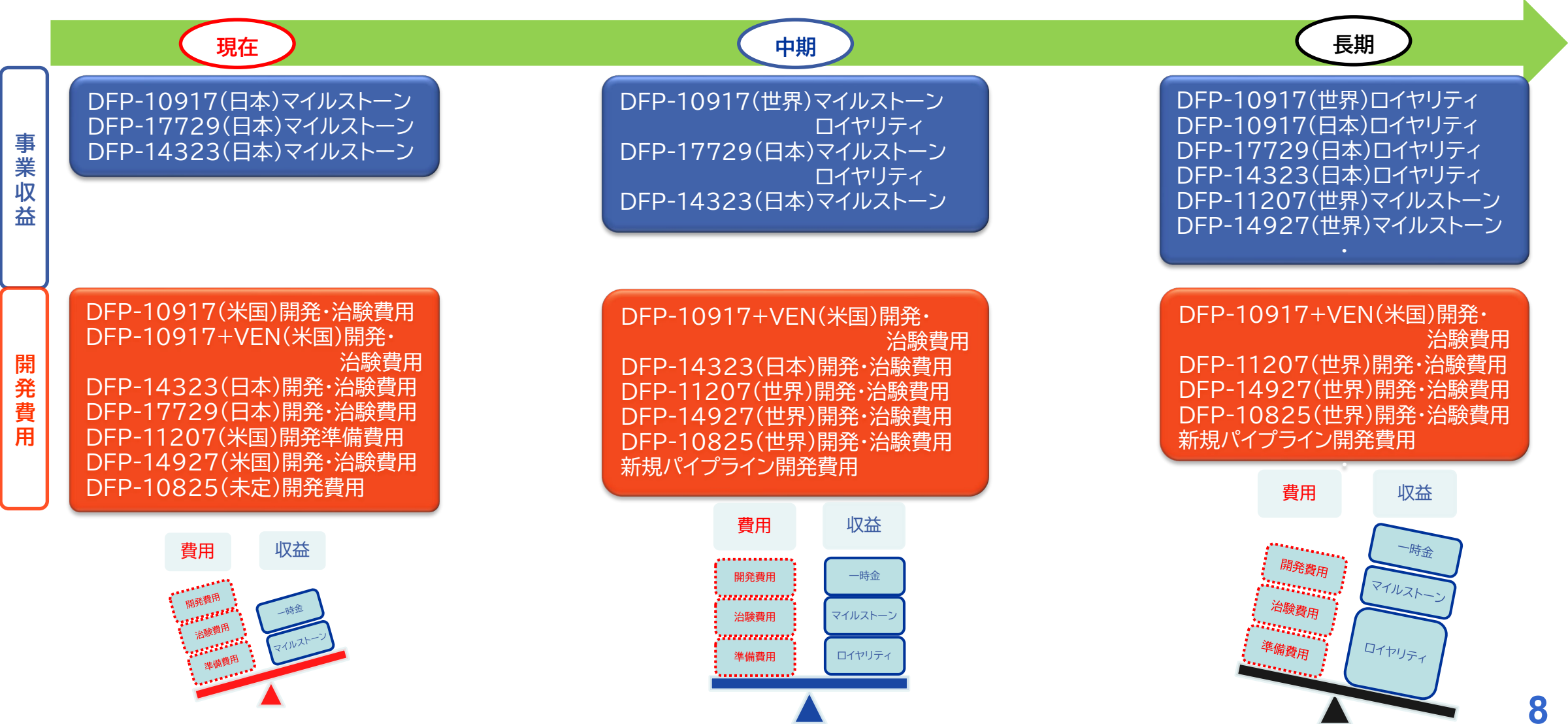
(単位:百万円)

対象	調達額 (実績・予定)	内容	充当額	2025年9月末までの充当状況
DFP-10917	1,257	臨床第3相試験の研究開発費及び承認申請関連費用	1,214	実施中
DFP-10917 + VEN 併用	500	臨床第1/2相試験の研究開発費	351	実施中
DFP-11207	180	胆道がんに対する医師主導治験の研究開発費	40	実施中
DFP-14927	350	臨床第1相試験及び次試験の研究開発費	318	実施中
DFP-14323	1,250	臨床第3相試験の研究開発費	635	実施中
DFP-17729	900	臨床第1相/第2相試験及び次試験の研究開発費	162	実施中
人件費及び経費等	587	開発体制、管理体制の強化、特許関連費用等	518	実施中

(※) 本日公表のプレスリリース「第三者割当による行使価額修正条項付第11回新株予約権の発行に関するお知らせ」に基づいて記載しております  
(※) 上表の各対象における調達額及び充当額は、第5回、第6回、第7回、第8回、第9回、第10回新株予約権及び(第三者割当)新株式の9月末日の合計を記載しております



企業価値向上を目指すため、手持資金、世界(欧米・アジア)・日本でのライセンスフィーの獲得、株式市場からの資金調達等により開発資金の確保を実施し、開発投資を計画的に行いパイプラインの上市を目指し、収支バランスのコントロールをしつつ、収益拡大を目標とする方針です





- 本資料は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。
- 本資料は、当社に関する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来に対する見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の結果が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。



## IRに関するお問い合わせ先

Delta-Fly Pharma株式会社 東京オフィス

E-mail [info@delta-flypharma.co.jp](mailto:info@delta-flypharma.co.jp)

URL <https://www.delta-flypharma.co.jp/>